

## 中頓別町立 認定こども園幼児消防クラブ

北海道中頓別町立認定こども園幼児消防クラブ  
園長 大島 朗



中頓別町立認定こども園幼児消防クラブは昭和60年11月27日に結成され、園長を代表として現在にわたり活動しております。日頃より消防活動及び消防行政に深くご理解とご協力をいただき、積極的に教育訓練や広報活動に取り組んでおります。なかでも、春の全道火災予防運動期間中に行われている「防火パレード」や秋の全道火災予防運動期間中に行われている「事業所訪問」は、クラブ員の子ども達の元気な声かけは地域住民を元気づけるだけでなく、柔らかい印象を与えることにより効果的な防火意識の向上につながり、クラブ員の子ども達は幼い頃から防火に関する知識を養うことができるため、広い範囲にわたり啓発することができます。受賞歴としましては、令和元年度に「南宗谷消防組合表彰規則第3条第4号(感謝状)」を受賞、令和2年度に「北海道消防協会定例表彰(優良消防関係団体表彰)」を受賞

しております。活動状況の詳細につきましては、令和元年度から令和5年度にかけて7回の広報活動、60回の教育訓練、毎年12月に行われている「防火もちつき会」4回を合わせて合計71回の活動、参加延人数については約2,000人となっております。今後も様々な広報活動や教育訓練を通して、火災発生防止につながる活動を継続していきます。



## 田村市大越中学校 消防クラブ

福島県田村市大越中学校消防クラブ  
教諭 橋 慶明



大越中学校消防クラブは、平成17年4月に発足し、今年で満20年を迎えました。大越中学校消防クラブには、大越中学校の全生徒が隊員として所属をしていて、毎年行われる避難訓練では代表生徒5名が軽可搬ポンプによる放水訓練を披露します。放水訓練の披露では、生徒達が協力してエンジンのついたポンプを操作し、火に見立てた的を狙って、実際に放水を行います。このような、生徒自身が放水訓練を行う活動は、防災に慣れ親しみ、地域の防災を支える人づくりとして重要な意義をもっています。

これまでの活動の甲斐あって、昨年度は全国少年消防クラブ交流大会に参加させていただきました。神戸市で行われた交流大会には全国から60チーム、約420人の参加があり、1日目は防災キャンパスと交流会が催され、阪神・淡路大震災や防災技術、防災食について学んだり、他の消防クラブとの交流を通して消防クラブの意義や価値を見直したりしました。2日目は競技会が催さ

れ、ロープの結索法や消火技術を披露し合いながら、防災について知識を深めました。

時代の流れに抗うことはできず、だんだんと子供の数が減少している昨今ですが、そんな今だからこそ、災害から地域を守る人材の育成に寄与できる、伝統ある消防クラブの活動を継承していきたいと思います。

